



# 倉敷市の農産物

Kurashiki agricultural products



## 倉敷市の農業について

倉敷市では、瀬戸内海沿岸特有の温暖な気候と、市内を流れる高梁川や小田川などからもたらされる豊富な水と肥沃な大地の恩恵を受けて、彩り豊かな農作物が栽培されています。

市内には、平地や丘陵地、砂地や泥地など、その地形や地質の特徴を活かし、先人たちのたゆまぬ努力によって様々な農作物の「産地」が生まれ、次代を担う生産者たちの手に受け継がれてきました。

その中でも、船穂地区で栽培されている「マスカット・オブ・アレキサンドリア」や「スイートピー」は、全国でもトップクラスの出荷量でその品質とともにその名が知られています。また、連島地区で生産されている「連島ごぼう」は、岡山県で初めて「地理的表示 (GI) 保護制度」に登録され、高品質なごぼうを生み出す西日本有数の産地として有名です。

この他にも、ニューピオーネやシャインマスカットなどのブドウやモモ、野菜のレンコンやショウガ、タケノコなど、市内の各地に産地が点在しているため、季節の移り変わりとともに特徴のある景観が生まれ、地域の中で欠かせないものとして大切に守られています。



# 倉敷市の農産物MAP

- |       |        |      |      |      |     |
|-------|--------|------|------|------|-----|
| 春菊    | れんこん   | 桃    | いちじく | 大根   | トマト |
| なす    | ごぼう    | たけのこ | みかん  | きゅうり | クワイ |
| ほうれん草 | マスカット  | ぶどう  | イチゴ  | 生姜   |     |
| ねぎ    | スイートピー | 梨    | 人参   | 米    |     |

## 倉敷市内の直売所

- |                              |                                 |
|------------------------------|---------------------------------|
| ① JA晴れの国岡山 児島ふれあい青空市         | ⑦ JA晴れの国岡山 玉島直売所ふれあい朝市「おなじみさん」  |
| ② JA晴れの国岡山 児島直売所ふれあい朝市「郷の里」  | ⑧ JA晴れの国岡山 玉島北直売所メルカートたまきた「果菜館」 |
| ③ JA晴れの国岡山 菅生直売所ふれあい青空市「すがお」 | ⑨ JA晴れの国岡山 船穂直売所                |
| ④ JA晴れの国岡山 倉敷青空市「やさい畑」       | ⑩ ふなおワイナリー                      |
| ⑤ 岡山産直ばっけえ市場                 | ⑪ ロードプラザ倉敷                      |
| ⑥ JA晴れの国岡山 福田青空市「すいれん」       | ⑫ 倉敷市たけのこ茶屋                     |





## お米(水稻)



倉敷市の農地の大部分を占める水田。多くの生産者が「米づくり」に携わっています。

瀬戸内の温暖な気候と、高梁川や小田川、倉敷川などに代表される河川によって、市内の平地には肥沃な農地が広がり、庄・茶屋町・真備地区を中心に市内のいたる所で水稻が作付され、様々な品種のお米が作られています。

市内で最も生産者が多い水稻ですが、水稻だけの収入では採算が取れないことが多く、収入を増やし経営を安定させるため、農業の経営形態に合わせて、耕作面積の拡大や二毛作、有機・特別栽培などに取り組む生産者もいます。

しかしながら、生産者の高齢化や後継者不足、面積が小さく不整形な農地が点在しているなど、農地を維持するための解決すべき課題が多数存在しているのが現状です。

限りある地域資源として農地を維持し、次の世代の意欲的な生産者に受け継いでいくため、それぞれの地域で時間をかけて話し合い、目指すべき将来像を描き、それに向かって農地の整備を進めていく必要があります。



## 野菜

市内ではその土地の状況（土壌の性質や形状など）に合わせて、様々な野菜が生産され、直売所やスーパー等に出荷されています。

その中でも特に大きな産地となっているのが、連島地区の「ごぼう」と「れんこん」、真備地区の「タケノコ」です。

連島地区では、高梁川の流れによって作られた砂地と泥地が一带に広がり、砂地では「ごぼう」が、泥地では「れんこん」の生産が盛んで、県内でも有数の産地となっています。特に「ごぼう」は「連島ごぼう」として地理的表示（GI）保護制度に登録され、厳格な品質基準のもと、他産地との差別化が図られています。

また、真備地区では粘土質の土壌と生産者の適切な竹林管理によって、アクが少なくやわらかな肉質の「たけのこ」が生産され、市場からも高い評価を受けています。

これらの野菜産地では、生産者の高齢化に伴う担い手不足や、農地が市街地に近接していることで生じる特有の課題などがあり、産地を維持するために独自の取り組みが必要とされています。



連島ごぼう



農林水産大臣登録第24号

GIマークは、登録された製品の地理的表示と併せて付すもので、製品の確立した特性と地域との結び付きが見られる真正な地理的表示産品であることを証するものです。



## 果物（果樹）

倉敷市は玉島地区、浅原地区、真備地区及び船穂地区の丘陵地を中心に、「もも」や「ぶどう」が盛んに栽培され、くだもの王国おかやまの中でも主要な産地としてその名が知られています。

特に、船穂地区は、加温栽培のマスカット・オブ・アレキサンドリアの出荷量が全国第1位で、その品質の高さとともに全国的にも有名です。





## 1.もも(白桃)



主な産地は玉島地区と浅原地区で、倉敷市(岡山県)で栽培される「もも」の最大の特徴は「袋かけ栽培」により育てられた「白さ」です。一つ一つの実に手作業で袋をかけることで、太陽の光を防ぎ白くて上品な「もも」が育ちます。

産地の生産者たちは出荷時期の異なる約20品種の「もも」の中から、それぞれの経営スタイルに合わせた品種を選択・栽培し、作業・出荷時期を少しずつ分散させることで、6月中旬から9月中旬にかけて異なる品種の「もも」をリレー方式で出荷することができます。

また、露地栽培される「もも」は品種によってその年の出来・不出来が天候に左右されることが多く、多数の品種を栽培することで収入の安定化を図っています。

玉島地区や浅原地区の産地では、毎年、若い世代の新しい生産者が「もも」の栽培を始めていますが、やはり生産者の高齢化は課題となっています。そして、不安定な環境の中で、生産者間の技術の違いによって「品質」にバラつきが生まれやすいため、これを解消するための取り組みも求められています。

## 2.ぶどう(シャインマスカット、ニューピオーネ、マスカット・オブ・アレキサンドリア など)

「ぶどう」の栽培が盛んなのは玉島地区と真備地区、船穂地区で、それぞれの産地では、受け継がれてきた伝統的な技と新たに習得された技術により、「加温」「無加温」「露地」といった「作型」の違いと、品種の違いによる「旬」の時期を上手に掛け合わせ、長いところでは毎年6月から11月までの長期間にわたって出荷されています。

ほんの数年前まで、市内で最も多く出荷されていた品種はニューピオーネでしたが、近年シャインマスカットの出荷量が急激に増加して1位となり、消費者ニーズの高さから依然として増加傾向にあります。

その陰で、船穂地区で伝統的に栽培されてきたマスカット・オブ・アレキサンドリアは大幅な減少傾向にあり、その栽培技術の伝承と産地の維持に向けた取り組みが進められています。

これら「ぶどう」の産地でも生産者の高齢化、担い手不足が課題となっていますが、これに加えて産地として「高品質」を維持し、さらに向上させるための取り組みが必要となっています。





## お花(花き)



市内の直売所では、生産者から直接持ち込まれた色とりどりの切り花・鉢植えなどが店頭に並び、店内を明るく彩っています。

その豊富な種類からも窺えますが、市内では様々な種類の花きが生産されており、その多くは個々の生産者がそれぞれの経営スタイルに合わせて栽培しています。倉敷市内で主要な産地として有名なのは船穂地区の「スイートピー」です。





## スイートピー



船穂地区では、特色である南向きの傾斜面に位置する施設で、安定した気候による日照時間の長さを活かし、品質の高いスイートピーを安定生産・安定出荷しています。

船穂オリジナル品種も含め、ピンク、紫、白、染めと約80品種の多彩なバリエーションを揃え、首都圏から県内までの多様な需要に対応しています。岡山県は全国第3位の生産量を誇り、中でも倉敷市（主に船穂地区）は市区町村別出荷量が全国第2位で、全国的にも代表的な産地となっています。

「スイートピー」は11月から翌4月上旬まで長期間にわたって出荷されていますが、花びらの形が「蝶が今にも飛び立ちそうな形」をしていることから、「門出」「旅立ち」を象徴する花として卒業式などで送る花として人気があります。このため、生産者は工夫を重ね、出荷終盤となる3月中旬以降のシーズンについても、安定して供給できるよう努めています。

春先に気温が冷える船穂地区の環境、きめ細やかな栽培管理などにより、花持ちの良さについて各市場から高い評価を得ています。また、近年では、海外市場への販路の拡大も進められているため、より一層の品質の向上と供給力の強化が求められています。

船穂地区では、生産者の離農に伴ってできた空きほ場に新規就農希望者を受け入れるなど、産地の状況に合わせ供給力や品質を維持するための取り組みが進められています。

しかしながら、生産者全体の高齢化は徐々に進行しつつあることから、産地や地域、関係者が一体となって魅力ある産地を将来にわたって維持するための取り組みを進める必要があります。



1月27日(い〜ふなわ)は「船穂スイートピー記念日」。例年記念イベントが開催されています。

## 「倉敷市農業振興ビジョン」について

倉敷市内では、「マスカット・オブ・アレキサンドリア」や「スイートピー」、「連島ごぼう」をはじめとする全国的にも名高い特産品が生み出され、生産者や関係者たちの努力によって産地の維持・発展を目指した取り組みが進められています。

一方で、農業全体を取り巻く現状は厳しく、深刻な農業従事者の高齢化や後継者不足に伴う担い手の減少、耕作放棄地の増加、米需要の減少、さらには消費者ニーズの多様化など、様々な課題を抱えており、貴重な地域資源である「農業」を守り、育てていくためには、これらの課題の解決に向けて農業従事者を含めた地域全体で取り組んでいく必要があります。

このような現状の中で、国内の動向や世界的な潮流を踏まえ、倉敷市の魅力ある農業が、将来にわたって営まれるよう、目指すべき方向性や基本目標を盛り込んだ「倉敷市農業振興ビジョン」を策定しました。

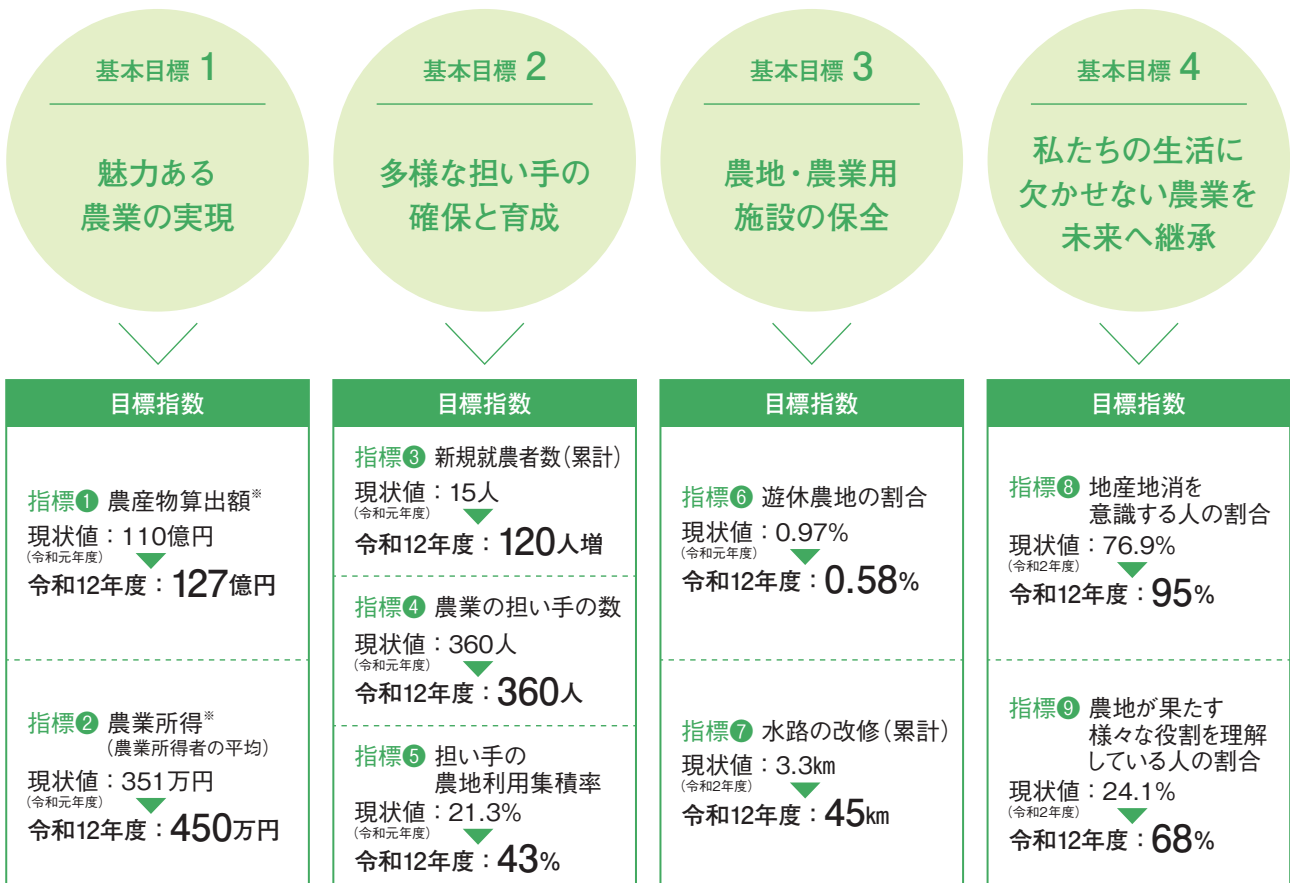
## ビジョンの策定期間（目標年次）

令和3年度から令和12年度までの10年間としています。

## 目指す将来像、基本目標と目標指標

### ●目指す将来像 「将来にわたり持続可能な魅力ある農業が営まれている」

### ●基本目標と目標指標



※前年1月～12月



## 施策の方向性と展開

10年後の将来像の実現を目指し、基本目標を達成するため、次のとおり基本方針と基本施策を定め、倉敷市の今後の農業振興に向けた取り組みの基盤とします。

なお、5年後の中間評価の結果によって、基本施策などの見直しの必要が生じた場合は、状況に応じて見直しを行うこととします。

### ●基本施策の体系図

将来像				
将来にわたり持続可能な魅力ある農業が営まれている				
基本目標	<b>①</b> 魅力ある農業の実現	<b>②</b> 多様な担い手の確保と育成	<b>③</b> 農地・農業用施設の保全	<b>④</b> 私たちの生活に欠かせない農業を未来へ継承
基本方針	<b>①</b> 多くの人が就きたい職業の一つとして選択される農業を実現する	<b>②</b> 農業を将来にわたって営む意欲ある生産者の確保と次代への円滑な継承を推進する	<b>③</b> 地域の実情に合わせた、農業生産基盤の適正な整備・維持を図る	<b>④</b> 農業・農地が人々の生活に果たす、多様な機能への関心と理解を深る
基本施策	<b>①-1</b> ブランド力の強化 <b>①-2</b> 6次産業化・農商工連携の推進 <b>①-3</b> 高収益作物への転換やスマート農業の推進 <b>①-4</b> 産地の供給力の強化	<b>②-1</b> 新規就農者の確保・育成 <b>②-2</b> 多様な担い手の育成と労働力の確保 <b>②-3</b> 農地の集積・集約化	<b>③-1</b> 荒廃農地の発生防止・解消 <b>③-2</b> 農業生産基盤の適正な整備・維持と防災	<b>④-1</b> 地産地消の推進 <b>④-2</b> 環境保全機能への理解 <b>④-3</b> 景観・交流の創出

「倉敷市農業振興ビジョン」の詳細は下記のアドレスもしくはQRコードからご覧ください。

<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/15877.htm>

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



